

パネルディスカッション 「耐津波工学の実践と課題」

関西大学 社会安全学部
高橋 智幸

想定は不可欠

最新の知見 + 継続的な見直し

東北津波以前

既往最大 + 不確かさ

東北津波以後

決定論的な津波ハザード評価 → 物理的に起こり得る最大規模 → ドライサイト
+ 多数シナリオ (大すべりなど) ↓

確率論的な津波ハザード評価 → 想定を超える津波を想定 ↓

深層防護

歴史津波に関する知見は不十分

想定に頼り過ぎない

発災後にどう動くか？

↓
被害の規模と継続期間

新規制基準の審査ガイド

津波監視 + その情報をどう使うか？

↓
津波警報は低解像度 (空間, 津波高), 長時間継続
↓ (気象業務法改正済)

重要施設を対象とした高解像度津波予報システム

離れ小島にあるのではない

自治体の津波防災との連携

↓
地域防災への貢献

津波評価の信頼性

数値解析手法には非公開部分
(例) アルゴリズムやコード

↓
津波レシピ, クロスチェック解析, **ベンチマーク問題**